



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月28日

上場会社名 石原ケミカル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4462 URL <http://www.unicon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 時澤 元一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 直哉 (TEL) 078-681-4801
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,393	△0.1	635	△7.0	767	4.6	504	51.2
25年3月期第3四半期	12,403	3.4	683	7.7	733	8.6	333	△12.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第3四半期	67.61		—					
25年3月期第3四半期	44.70		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	18,650	14,479	77.6
25年3月期	17,430	13,934	79.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 14,479百万円 25年3月期 13,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,970	4.2	960	26.3	1,000	21.7	660	77.9	88.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	7,460,440株	25年3月期	7,460,440株
26年3月期3Q	280株	25年3月期	280株
26年3月期3Q	7,460,160株	25年3月期3Q	7,460,184株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国経済の回復基調と政府による経済政策等の効果もあり、全体としては景気回復の兆しが現れております。一方で、円安進行による原材料価格の上昇や消費税増税に伴う消費マインド減退への懸念など国内景気の下振れ懸念があり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような状況下、当社は、自動車用化学製品等、工業薬品セグメントを中心に伸びを示しましたが、上期後半より海外のIC・半導体メーカーを中心に生産調整及び新規の設備投資の延期等があり、金属表面処理剤及び機器等、電子材料セグメントは前年同期を下回る結果となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高12,393百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益635百万円（前年同四半期比7.0%減）、経常利益767百万円（前年同四半期比4.6%増）、四半期純利益504百万円（前年同四半期比51.2%増）となりました。

セグメント別の売上高及び概要は、次のとおりであります。

(セグメント別の売上高)

(百万円未満切捨表示)

セグメント		前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	増減	平成25年3月期
金属表面処理剤 及び機器等	製品	2,766	2,598	△168	3,504
	商品	4,749	4,350	△399	6,400
計		7,515	6,948	△567	9,905
電子材料	製品	214	215	1	280
	商品	403	396	△7	519
計		618	612	△5	799
電子関連分野計		8,134	7,561	△572	10,704
自動車用化学製品等	製品	949	1,216	266	1,241
	商品	284	297	13	378
計		1,234	1,514	280	1,619
工業薬品	製品	174	154	△19	227
	商品	2,860	3,162	302	3,736
計		3,034	3,317	282	3,963
総計		12,403	12,393	△9	16,288
内訳	製品	4,105	4,185	80	5,254
	商品	8,298	8,207	△90	11,034

(セグメント別の業績の概要)

<金属表面処理剤及び機器等>

当セグメントが対応する電子部品業界は、デジタル家電やパソコン需要が低迷している中、スマートフォン、タブレット関連の需要は引き続き堅調に推移しました。一方で、新興国向けの電子部品の供給が増えるに伴い価格競争が激しくなっております。

このような状況の中、スマートフォン、タブレットに搭載される先端電子部品用ウエハーバンプめっき液は、韓国、台湾のユーザーを中心に拡販に努めましたが、ユーザー各社の原材料の使用量削減

などのコストダウンの影響により前年同期を下回りました。

一方、化成処理液自動管理装置は、スマートフォン、タブレットの市場拡大に対応したプリント基板、タッチパネル関連のユーザーの海外工場を中心に管理装置、試薬の拡販に努めました。

これらの結果、金属表面処理剤及び機器等の売上高は、6,948百万円（前年同四半期比7.5%減）となりました。

<電 子 材 料>

電子材料のニッケル超微粉は、ユーザーのセラミックコンデンサの生産状況もあり前年同期並みとなりました。

また、機能材料加工品は、半導体、液晶関連ともに国内市場が依然低迷しており、価格競争の激化、大手メーカーの低価格受注が目立ちました。

これらの結果、電子材料の売上高は、612百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

<自動車用化学製品等>

当セグメントが対応する自動車アフターマーケットは、新車の販売台数は、期後半は消費税増税の駆け込み需要もあり前年を上回ったものの、売れ筋は軽自動車とハイブリッドで主力であるため、カーディラーは新たな収益源の確保のため、サービス面での売上に力をいれています。

このような状況の中、エアコンフィルター交換作業に合わせエアコン洗浄を同時に施工するビジネスを継続して提案し新規のカーディラーを獲得し、新製品を投入したこともあり、エアコン洗浄剤が順調に推移いたしました。また、補修用コンパウンドの新製品を投入し、説明会、同行販売を実施したことによりコンパウンドも順調に推移いたしました。

これらの結果、自動車用化学製品等の売上高は、1,514百万円（前年同四半期比22.7%増）となりました。

<工 業 薬 品>

当セグメントが対応する鉄鋼業界は、国内粗鋼生産量は前年を上回るなど回復基調が鮮明になり建設と自動車関連を中心に国内の鋼材需要が好調に推移したほか、円安効果による中国、アジア諸国への鋼材輸出に回復がみられ、当社的高级鋼板向け特殊薬剤の使用量が増加しました。

これらの結果、工業薬品の売上高は、3,317百万円（前年同四半期比9.3%増）となりました。

(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表いたしました予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,448,307	2,562,188
受取手形及び売掛金	3,029,432	3,352,642
電子記録債権	182,334	268,519
有価証券	57,294	263,828
商品及び製品	493,102	372,803
仕掛品	26,942	38,349
原材料及び貯蔵品	288,479	306,940
その他	153,331	169,511
貸倒引当金	△321	△362
流動資産合計	6,678,903	7,334,421
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,539,975	2,077,492
その他(純額)	2,036,577	1,772,572
有形固定資産合計	3,576,552	3,850,064
無形固定資産		
	44,243	39,955
投資その他の資産		
投資有価証券	4,661,704	5,223,672
その他	2,482,262	2,204,522
貸倒引当金	△13,021	△2,431
投資その他の資産合計	7,130,946	7,425,763
固定資産合計	10,751,741	11,315,784
資産合計	17,430,645	18,650,205
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,286,268	2,708,549
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	24,000	14,000
未払法人税等	77,528	155,506
賞与引当金	149,000	78,001
役員賞与引当金	32,400	39,600
その他	479,209	404,331
流動負債合計	3,048,406	3,699,989
固定負債		
長期借入金	8,000	—
役員退職慰労引当金	269,096	—
資産除去債務	38,512	38,512
その他	131,670	432,128
固定負債合計	447,279	470,641
負債合計	3,495,686	4,170,630

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,447,280	1,447,280
資本剰余金	1,741,909	1,741,909
利益剰余金	10,616,875	10,897,478
自己株式	△290	△290
株主資本合計	13,805,775	14,086,378
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	129,183	393,196
評価・換算差額等合計	129,183	393,196
純資産合計	13,934,958	14,479,574
負債純資産合計	17,430,645	18,650,205

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	12,403,155	12,393,269
売上原価	9,416,680	9,266,890
売上総利益	2,986,475	3,126,378
販売費及び一般管理費		
販売促進費	31,217	22,961
運賃及び荷造費	202,405	171,713
旅費及び交通費	103,161	108,970
報酬給与手当及び賞与	548,473	634,807
賞与引当金繰入額	39,336	40,814
役員賞与引当金繰入額	16,200	39,600
退職給付引当金繰入額	19,824	14,027
役員退職慰労引当金繰入額	16,742	—
福利厚生費	134,432	141,332
研究開発費	683,229	717,935
減価償却費	60,924	98,426
貸倒引当金繰入額	26	40
その他	447,058	500,345
販売費及び一般管理費合計	2,303,033	2,490,974
営業利益	683,441	635,404
営業外収益		
受取利息	918	1,774
有価証券利息	28,071	24,267
受取配当金	30,982	32,968
助成金収入	—	30,000
有価証券売却益	647	4,574
その他	23,051	53,383
営業外収益合計	83,672	146,968
営業外費用		
支払利息	1,327	1,179
売上割引	1,591	1,388
有価証券償還損	17,935	—
コミットメントフィー	11,015	11,050
その他	1,537	1,572
営業外費用合計	33,407	15,190
経常利益	733,706	767,182
特別利益		
固定資産売却益	—	151
特別利益合計	—	151

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
特別損失		
固定資産除却損	1,609	29,165
投資有価証券売却損	188,645	—
ゴルフ会員権評価損	11,500	—
貸倒引当金繰入額	10,500	—
特別損失合計	212,255	29,165
税引前四半期純利益	521,451	738,168
法人税等	187,957	233,761
四半期純利益	333,493	504,407

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。